

本社管理部門、グループ会社監査の基本

—効果的な本社及び子会社監査の留意点と事例紹介—

- 日 時 ● 2018年3月30日(金) 10:00~17:00 <12:00-13:00 昼食・休憩>
- 会 場 ● 東京・麹町 企業研究会『セミナールーム』
- 講 師 ● 吉田 邦雄氏 株式会社ポーラ・オルビス ホールディングス 内部監査室部長
日本内部監査協会講師、CFE(米国公認不正検査士)

●プログラム●

【ご経歴】

中央大学法学部卒業、富士ゼロックス(株)入社。法務/コンプライアンス、経理、企画、資材畑を歩み生産企画部長、1995年経営監査部マネジャー(部長)、この期間、長野ゼロックス(株)監査役などを兼任、2007年4月より移籍、(株)ポーラ・オルビス HD 内部監査室部長。

法務/コンプライアンス、ガバナンス、リスクマネジメント、経営監査、不正調査、海外子会社監査、東証上場審査対応、J-SOX実務対応、持株会社監査、事業計画監査、海外M&A買収後監査、ITガバナンス監査、監査の品質評価プログラム、BCP対応、CSR/CSV監査研究等20年以上実務専門家として監査/不正調査現場の第一線に従事。

日本内部監査協会「2003~2017年度実務演習」「監査役監査研究会2005年2月・3月例会」各講師及び「2006~2017年度内部監査士認定講習会」講師、そして経営倫理実践研究センター(BERC)上席研究員、企業研究会「これからの経営監査を考える会」運営幹事。また、神戸大学大学院(経営学研究科)等大学大学院、日本公認会計士協会、日本監査役協会、民間大手企業、財務省を始めとする中央官庁等において講演/コンサルティング/執筆活動も行っている。(株)経営監査研究所取締役社長。

論文・著書：2004年『富士ゼロックスの倫理・コンプライアンス監査』東洋経済新報社 2006年『経営監査機能強化とグループ会社監査体制の確立』企業研究会研究叢書No.133分担執筆 2006年『月刊監査役8月号』及び『日経情報ストラテジー9月号』“日本版SOX法対応に関する緊急提言”共同執筆 2012年BERC編『実践!コンプライアンス上級編』への協力執筆 PHPエディターズグループ発行 2015年『月刊監査研究8月号』“経営監査の高付加価値化”<CSVと経営監査>発表 2017年『月刊監査研究4月号』“経営監査から見た不正防止への考察” 2017年『月刊監査役7月号』監査役全国会議パネルディスカッション登壇“内部監査部門との連携強化”他。

【開催に当たり — 吉田講師からのメッセージ】

本研修セミナーは、本社部門及び国内子会社監査をベースとしたプロ監査人へのスキルアップ講座の位置付けにありますので、ご関心のある方を広く募集いたします。

昨今のグループ経営時代では、3つのデフェンスライン機能の連携に不備が生ずると、経営トップは事実上全社統制が困難な状況となります。従って、このような状況下で、企業不祥事が発生してしまいますと経営トップの責任追及/辞任が現実化してきますので、これからは企業集団としての不祥事防止こそ、経営トップそして内部監査人が最も関心を持たねばなりません。

また、会社法上の企業集団内部統制は子会社ガバナンス機能のモニタリング等グループ経営戦略上その強化が求められており、相対的に高難易度と言われる本社部門監査において経営戦略に対応する監査ニーズも高まってきております。従って、企業集団としてグループ業績向上に貢献する経営監査の必要が叫ばれる中、本研修では、プロ監査人に必要な本社部門監査及び国内子会社監査の着眼点/留意点を分かりやすくご紹介いたします。成果の上がる本社部門監査及び国内子会社監査の監査ノウハウ中心に解説すると共に監査事例迄詳細にわたりご紹介いたしますので、皆様の実務に必ずお役立ちできるものと確信いたします。なお、今回テキストとして提供している「基本的な監査チェックリスト」については、情報提供にとどまらず、実務上、監査頻度の高い子会社監査事例向けに抽出し、各領域毎に“実戦的”な「監査上の重要ポイント」をご紹介する予定です。この機会に内部監査部門の方々の積極的ご参加をお薦め致します。

●参加要領●

●受講料：1名(資料・昼食費含む)

正会員	43,200円	一般	46,440円
-----	---------	----	---------

[本体価格 40,000円 本体価格 43,000円]

* 会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認ください。
http://www.bri.or.jp

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者が出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

●申込先

一般社団法人 企業研究会 経営管理研究グループ

担当)居代 E-mail:ishiro@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2

TEL 03-5215-3516/FAX 03-5215-0951~2

172987-0202	2018	3/30	本社管理部門、グループ会社監査の基本	
会社名				
住所	〒			
TEL	FAX			
部課 役職		フリガナ	お名前	
e-mail				
部課 役職		フリガナ	お名前	
e-mail				

10:00

1. 本社部門監査編

- ①本社部門監査のキーポイント
 - ・高難易度監査への対応
 - ・本社における子会社管理部門監査の着眼点
- ②経営戦略に対応する監査ニーズ
- ③本社テーマ監査(監査テーマ事例)
- ④HD 監査事例(ソフトコントロール監査事例、機能別監査事例)
- ⑤本社組織別監査のポイント及び「テーマ監査事例」
 - i. 企画部監査のポイント
 - ・方針管理監査事例(方針根拠/管理レベル/納得性)
 - ii. 経理部監査のポイント
 - ・J-SOX 業務監査事例(ERM 構築/不正検知情報提供)
 - iii. 人事部監査のポイント
 - ・成果主義制度監査事例(トータル成果主義への移行)
 - iv. 情報システム部監査のポイント

12:00
昼食
休憩
13:00

2. 国内子会社監査編

- ①国内子会社監査のキーポイント
- ②コンプライアンス、リスクの高い子会社の見分け方
- ③書面監査事例
- ④深掘り監査手法
- ⑤基本的な子会社監査チェックリストと着眼点
 - 棚卸資産管理 / 購買・外注管理/販売管理 / 人事・労務管理 /
 - 個人情報管理 / 情報システム管理 / 固定資産管理/物流管理 /
 - 研究開発管理 / 製造管理 / 経理 / コンプライアンス / 孫会社管理他

* 内容は若干変更する場合があります、予めご承知をお願いします。

3. 意見交換及び質疑応答

講義をベースに質疑応答および自由な意見交換の場を設けます

17:00

<参考資料>

- ◆ 経営監査ベンチマーク
- ◆ これからの経営監査の方向性
- ◆ 経営判断の原則
- ◆ 経営監査に必要な人材育成プログラム

本セミナーは講演範囲が広いため、時間の制約上、やむなく
重要ポイント重視にてご紹介予定。但し、Q&Aの時間は適宜設けます。

★弊会ホームページからも申込み可能です。「トップ」→「セミナー・会員研究会」→「03. 監査」